

芹ヶ谷公園“芸術の杜” パークミュージアム 整備計画説明会

町田市

本日の流れ

- ご挨拶
- 整備計画の進捗状況
- 意見交換

2011年3月 町田市の博物館等の新たな在り方構想

2014年6月 （仮称）町田市立国際工芸美術館整備基本計画

- ・ 見せる・楽しむ・支える まちの賑わいに寄与する
- ・ 基本理念「暮らしの中の知恵と美」の探求
- ・ 芹ヶ谷公園内（国際版画美術館の北側）に整備すること

2016年3月 芹ヶ谷再整備基本計画再整備基本計画

- ・ “街中で 人と緑が 出会い 触れ合う **芸術の杜**”
- ・ 重点施策である町田駅周辺のまちづくりにおいて、芹ヶ谷公園の魅力を一層向上させることで新たな賑わいを創出

2016年7月 町田市中心市街地まちづくり計画

- ・ “夢”かなうまちへ 10のプロジェクト
 - 「町田発アート・カルチャーを楽しむプロジェクト」
 - 「周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト」

(仮称) 国際工芸美術館整備事業

町田市立博物館

閉館 (2019年6月に展示終了)

郷土
資料等

工芸美術
ガラス・陶磁

@本町田 1973年～

生涯学習部へ移管し、活用



町田市立
国際版画美術館

(仮称) 町田市立
国際工芸美術館

新たに芹ヶ谷公園内に美術館として整備

芹ヶ谷公園



芹ヶ谷公園再整備基本計画

2016年3月

～再整備のテーマ～

“まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜”

重点施策である**町田駅周辺のまちづくり**において、芹ヶ谷公園の魅力を一層向上させることで**新たな賑わい**を創出

町田駅利用者街頭アンケート

「**緑**が豊か」 **低評価**

(回答者の約3割にとどまる)

芹ヶ谷公園と
中心市街地との一体性が課題





芹ヶ谷公園
整備事業

町田駅周辺のまちづくりにおいて、
**芹ヶ谷公園の魅力をもっと
さらに向上**

人々が
集い憩う
交流する

(仮称)国際
工芸美術館
整備事業

“夢まち”

町田発アート・カルチャー
を楽しむプロジェクト

周辺資源をみがきまちの
魅力として活かすプロジェクト

芹ヶ谷公園
“芸術の杜”
プロジェクト

モノレール

道路

→
一体的に考える

ビジョン

地域の人にとっての憩いの公園であり、
市内外から多くの人を訪れる
町田市の顔のひとつとなるような
"わざわざ訪れたくなる"
"何度でも訪れたくなる"
多彩な魅力に溢れている、
町田を訪れる目的となりえる場。

町田らしい
多様なアート・カルチャーを体現する
魅力的な企画やイベントが、
緑あふれる公園の空間や公園内施設、
まちなかと一体となって
展開されている。

行政だけでなく
多様な主体の参画による
高付加価値化、
広がりが生まれている。

芹ヶ谷公園の価値と資源

谷戸地形が残る場所

芹ヶ谷公園は恩田川へ注ぐ支流の浸食により形成された谷戸地形がそのまま残された公園です。斜面を覆う緑によって独特の囲われ感がつくられ、喧騒を感じさせない空間が保たれています。



谷がつくる緑や水の風景

斜面地にコナラやムクノキ等からなる落葉広葉樹林やシラカシなどの常緑樹林が分布しています。水路や湧水では湿生の植物も見られます。豊かな環境の中に様々な鳥類や昆虫類等も生息し、中心市街地周辺にしながら身近に自然を感じることができます。



谷底が人の集まる場所

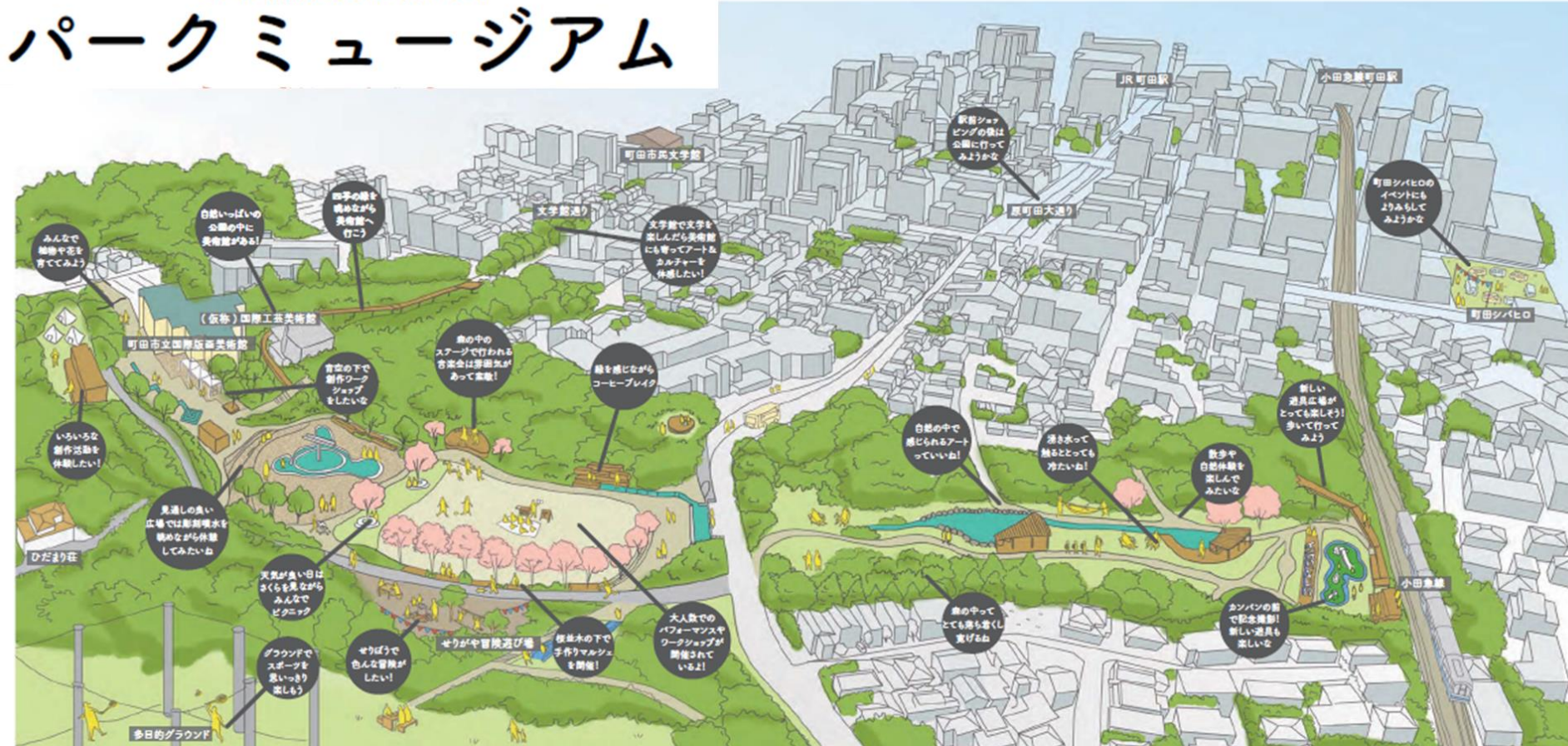
豊かな自然を活かした公園として、散策などを中心に市民の憩いの場となっています。国際版画美術館をはじめとし、園内には芸術作品が展示され、アートを楽しめる場としても市民に親しまれています。多目的広場では年間を通じてイベントが開催され、市内外から多くの来園者が訪れるなど、賑わいのある空間が形成されています。



1 本プロジェクトのこれまでの経緯・取組み

町田の自然と文化に出会える

パークミュージアム



芹ヶ谷公園がもつ豊かな自然や環境も含め、

まさに**芹ヶ谷公園**そのものが**多彩な美や文化**にあふれた**ミュージアム**

2020年3月 芹ヶ谷公園“芸術の杜” パークミュージアム CONCEPT BOOK
2020年12月 同 DESIGN BOOK

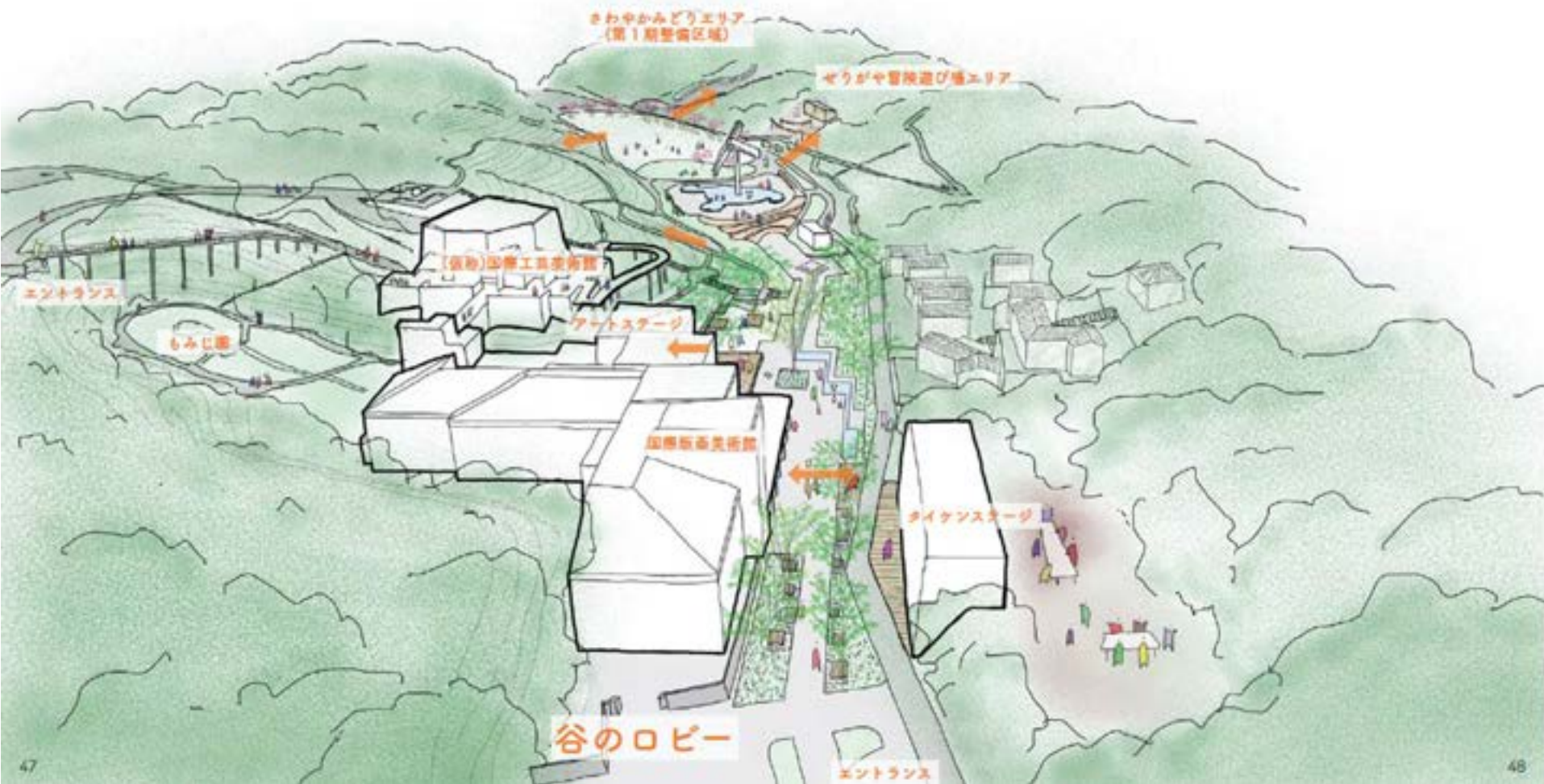
「谷のロビー」と「谷の回廊」を中心に、公園全体をパークミュージアムの活動フィールドとして一体的に活用します。

- ・地域によって大切な自然資源を守る場所を特定しつつ、人が自然と触れ合えるような空間の整備
- ・既存のあずまやをもっと喜心地良く、くつろぎやすい滞在ポイントとして改修
- ・小笠原島から公園の楽しみが見える遊覧船の整備やサイン看板の設置
- ・まちからのアクセス向上のためのデッキスロープ整備

- ・美術館と連携した様々な文化活動ができる賑わいの場の空間整備
- ・歩路のある広場から多目的広場へ一歩の空間として繋げていくステージの設置
- ・〈仮称〉国郷工芸美術館やデュークスロープからの機能を拡張したもみじ園の改修
- ・原町大通り、文字通り通りのからのアクセス向上のためのバリアフリーに対応したデュークスロープの整備

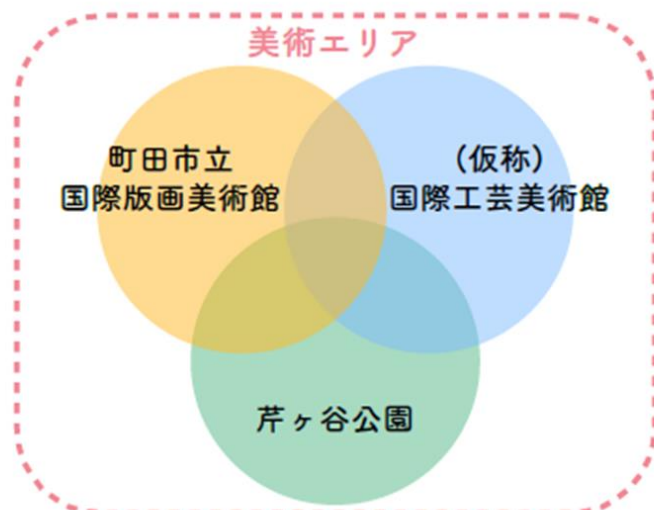


1 本プロジェクトのこれまでの経緯・取組み

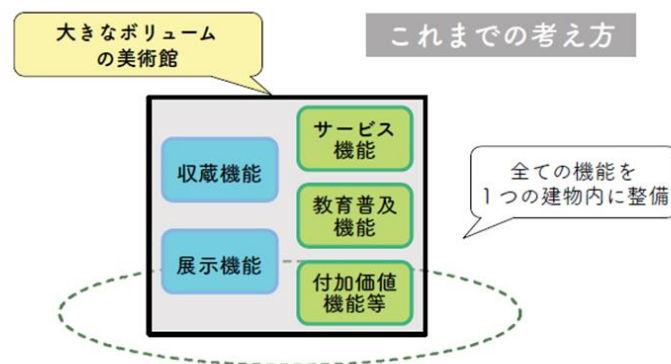


1 本プロジェクトのこれまでの経緯・取組み

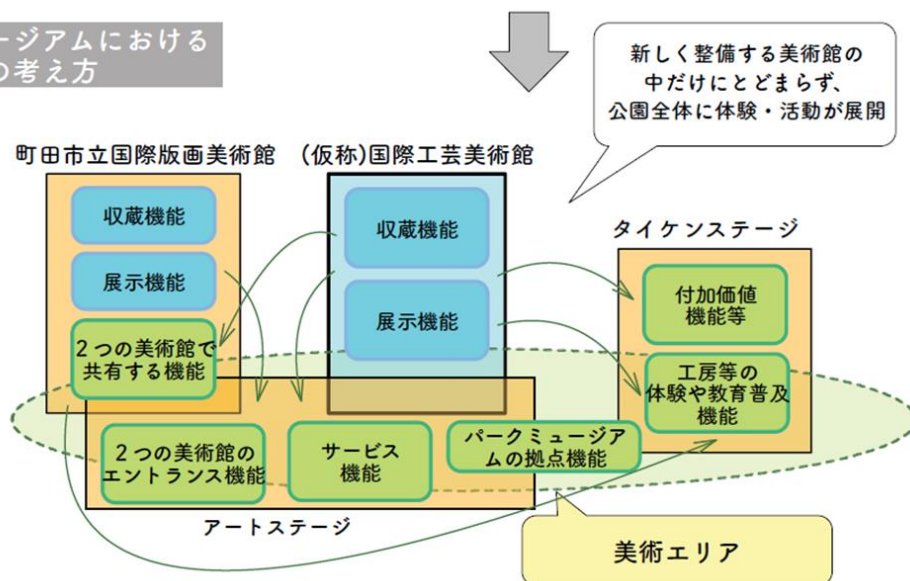
新しく整備する(仮称)国際工芸美術館は、町田市立国際版画美術館と共に公園と連続した「美術エリア」を形成し、パークミュージアムへ美術活動を展開するための拠点となります。



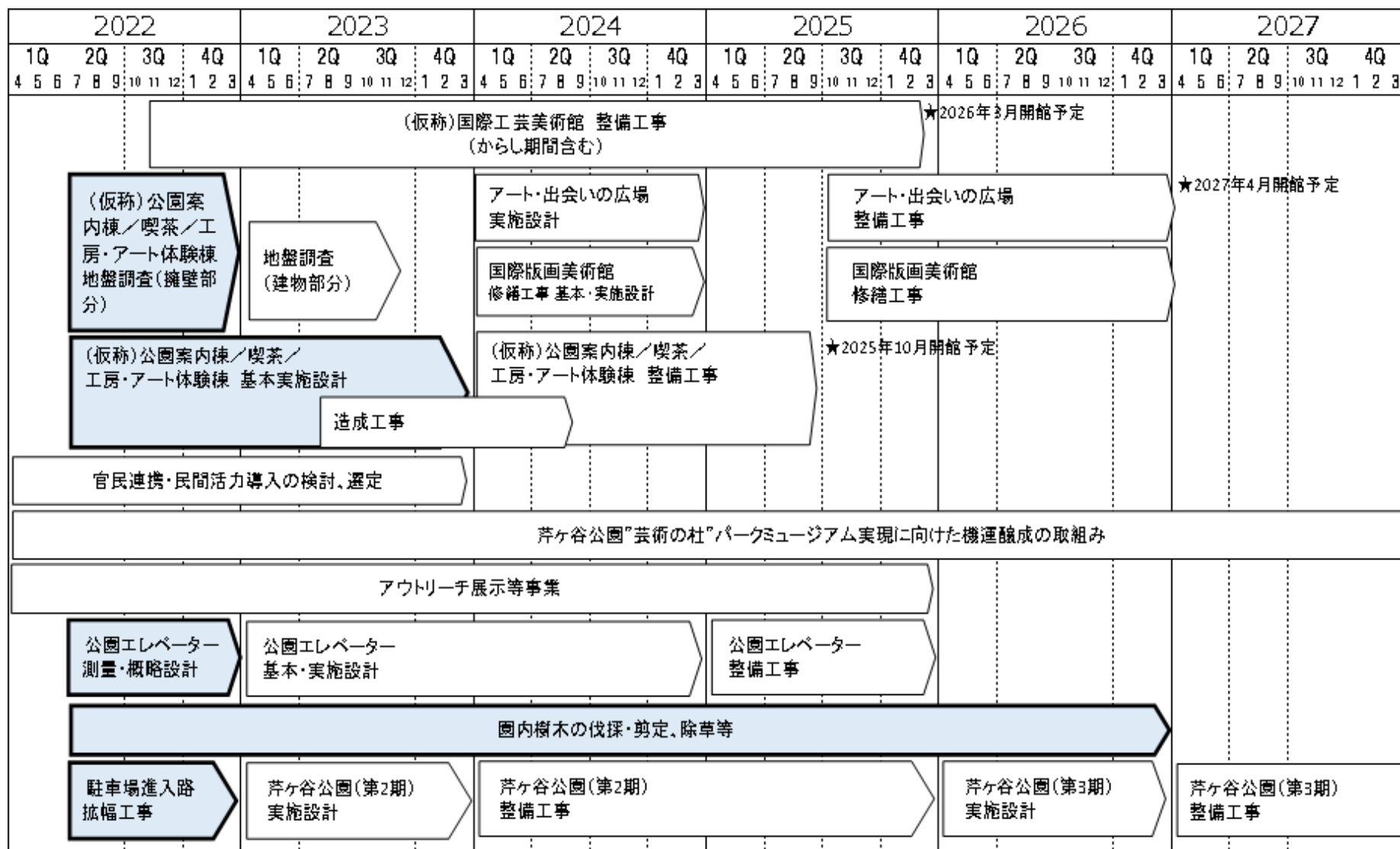
- ・町田市立国際版画美術館、(仮称)国際工芸美術館、公園の3つが一体となり、美術を介してコミュニティを育むための拠点を整備する。
- ・公園と連続した回遊性を確保し、公園を訪れた市民へ身近な美術体験を促す。
- ・機能や空間の連携・共有により、総合的な価値の向上や、機能の強化を図る。



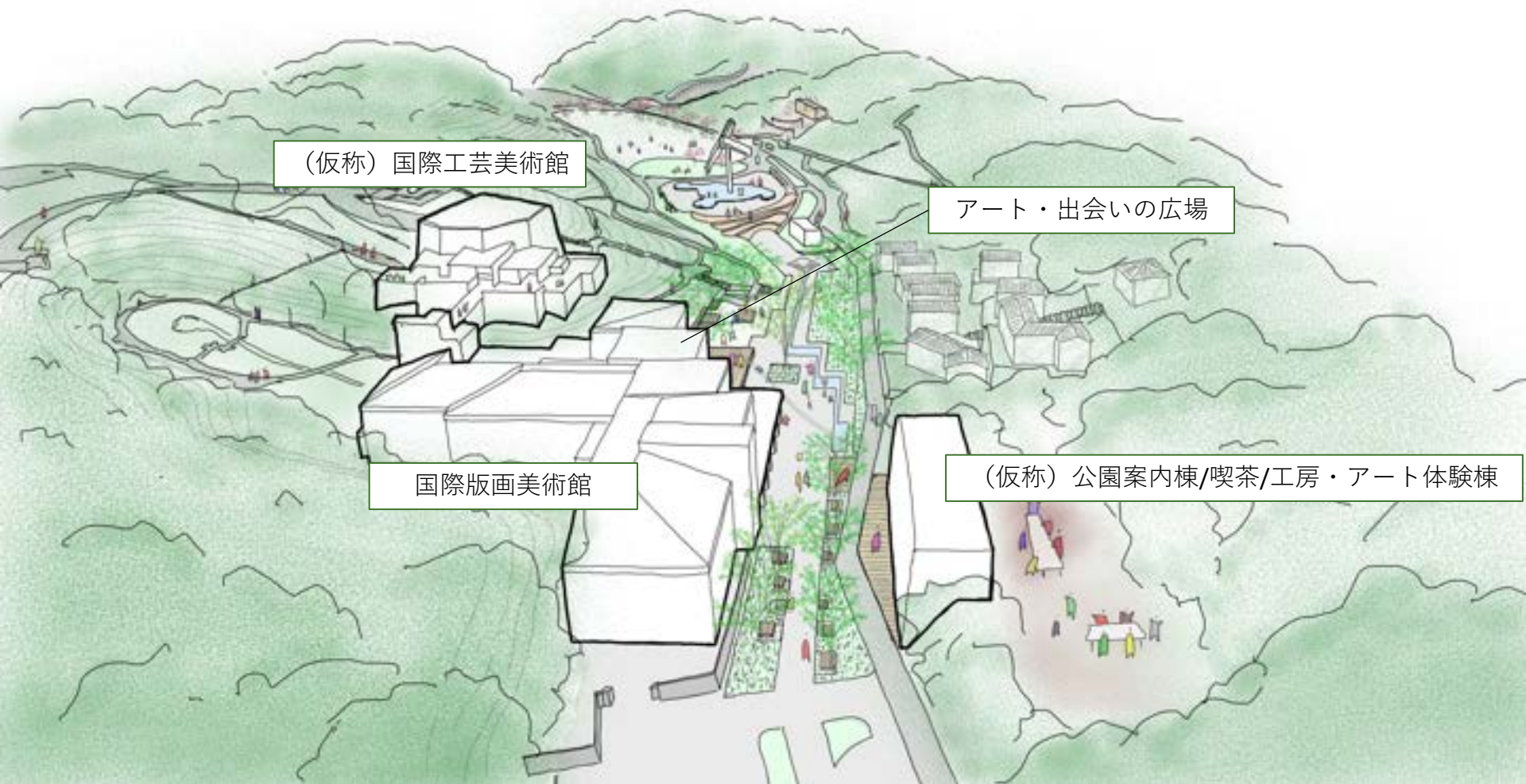
パークミュージアムにおける美術エリアの考え方



2 整備スケジュール



3 芹ヶ谷公園 谷のロビー整備計画



4 2つの美術館の一体的な整備 - (仮称) 国際工芸美術館



谷のロビーから (仮称) 国際工芸美術館を眺めるイメージ



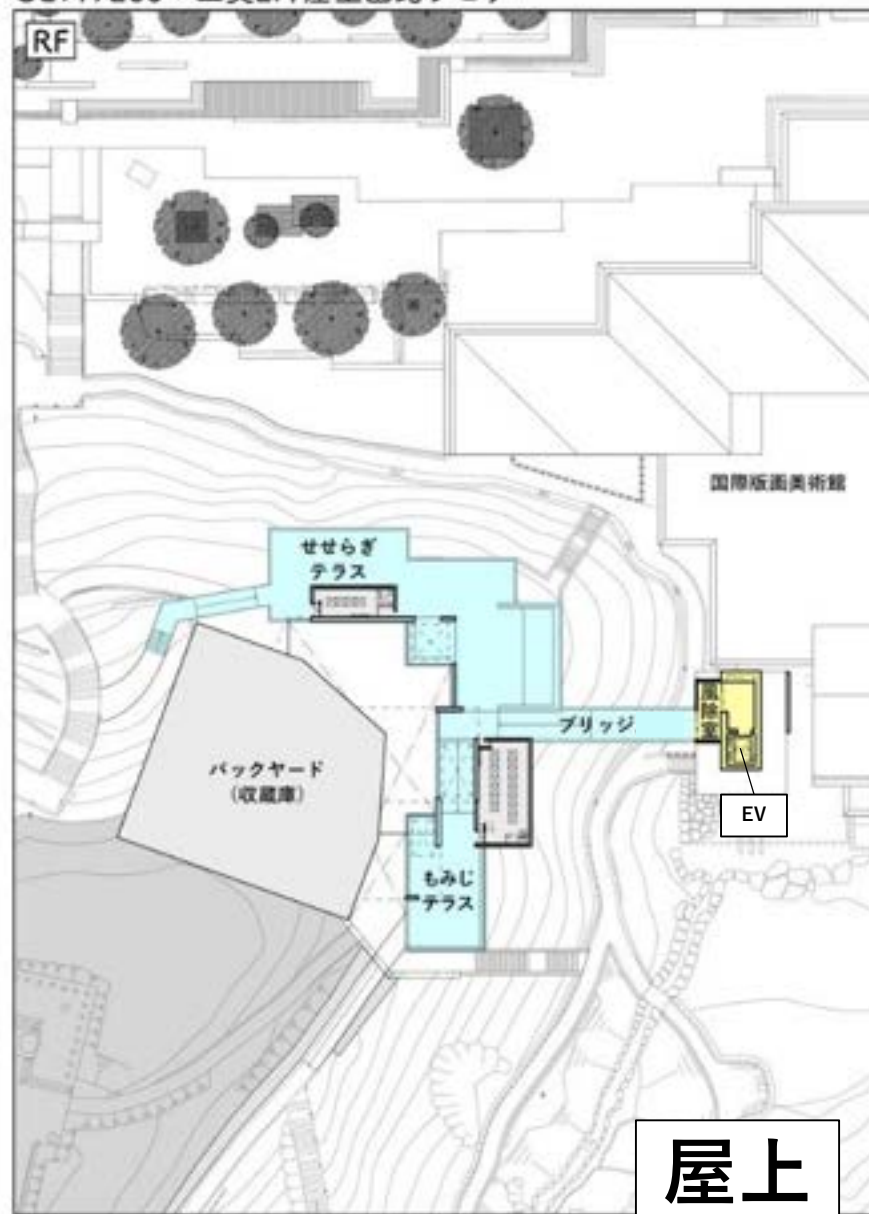
4 2つの美術館の一体的な整備 - (仮称) 国際工芸美術館

(仮称) 国際工芸美術館の展示室について



4 2つの美術館の一体的な整備

GL+17200：工美2F/屋上園路フロア

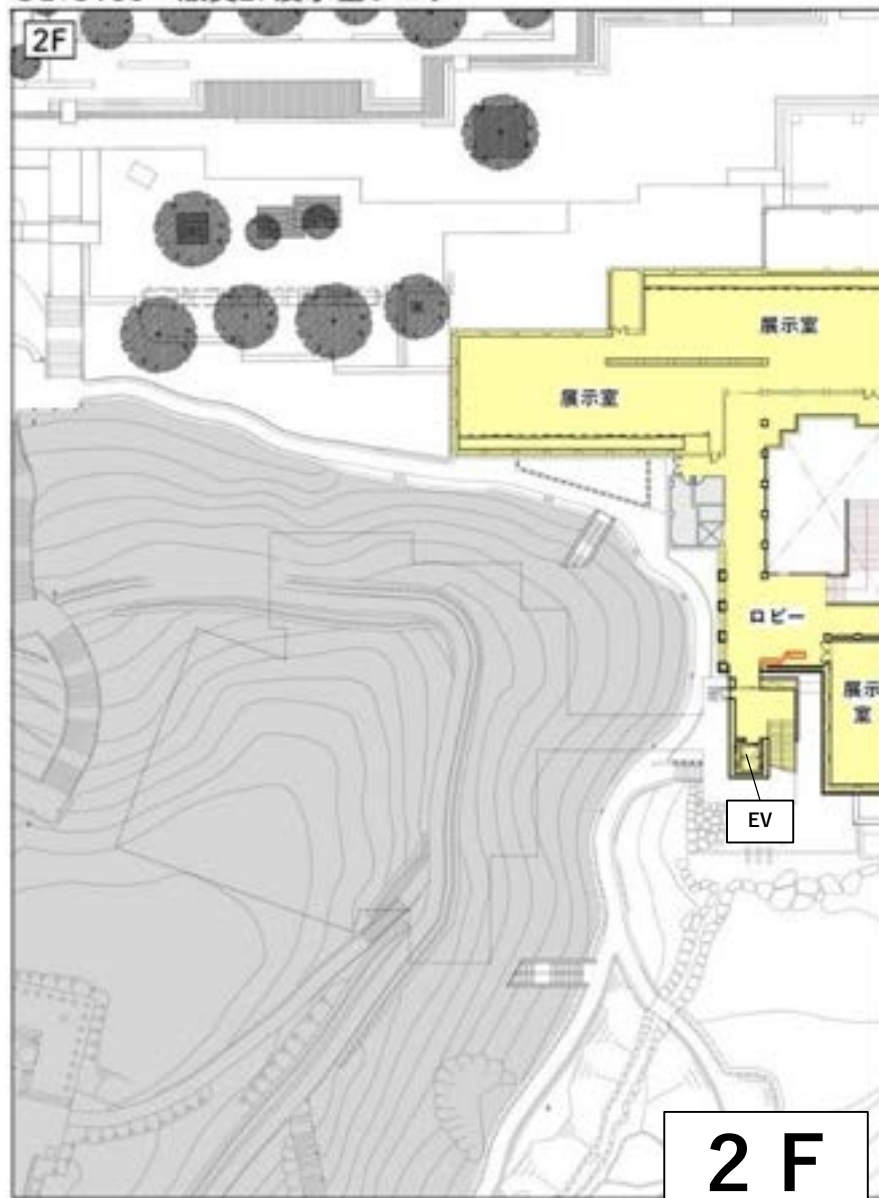


GL+10300：工美1F展示室フロア

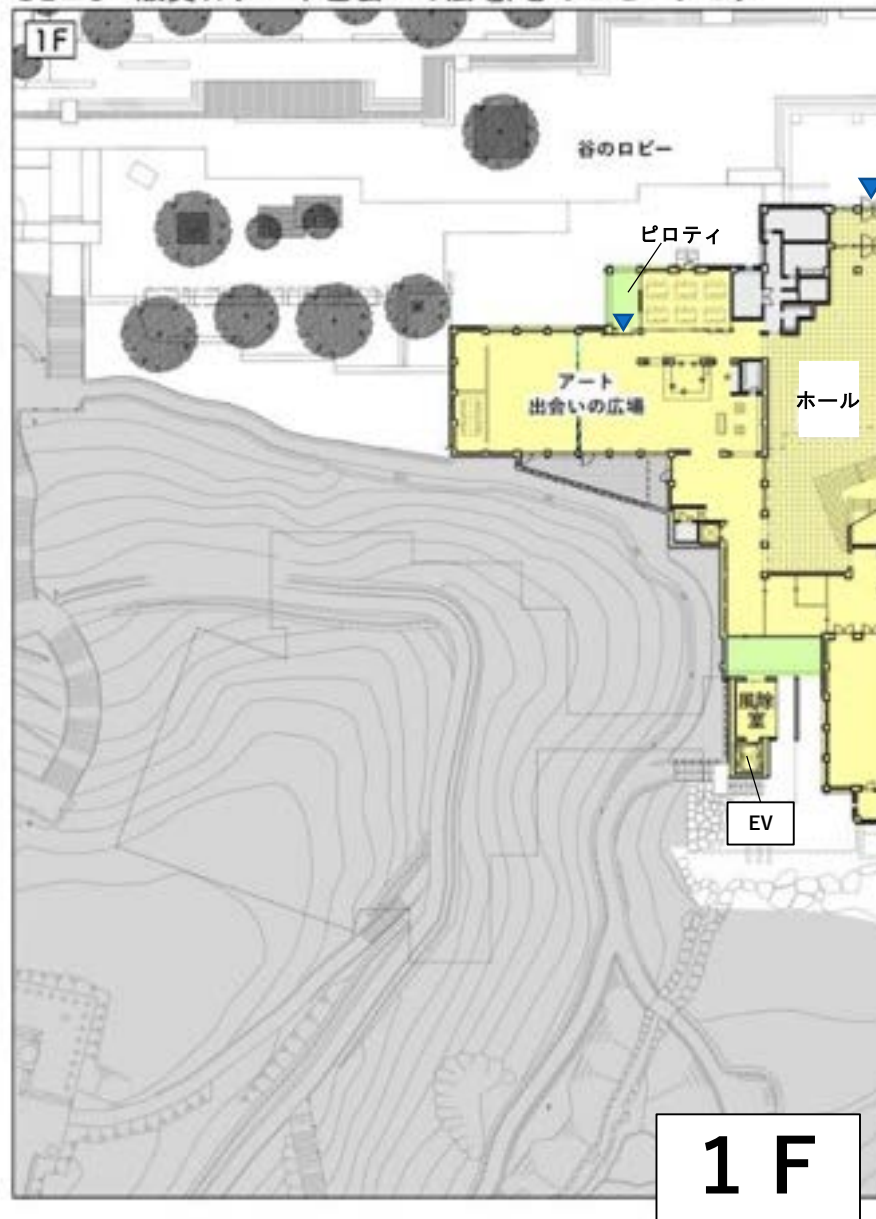


4 2つの美術館の一体的な整備

GL+5100：版美2F展示室フロア



GL±0：版美1Fアート出会いの広場/谷のロビーフロア



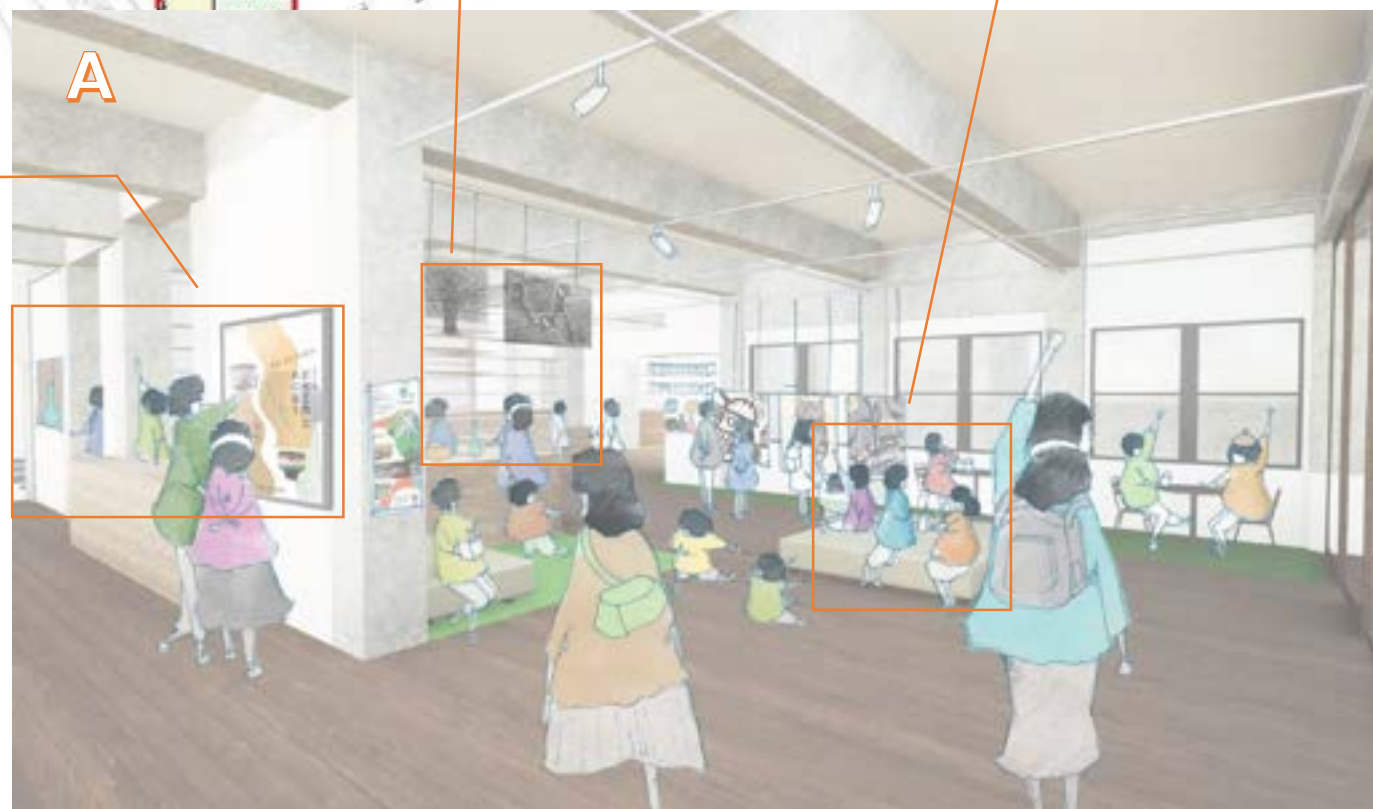
4 2つの美術館の一体的な整備 -アート・出会いの広場



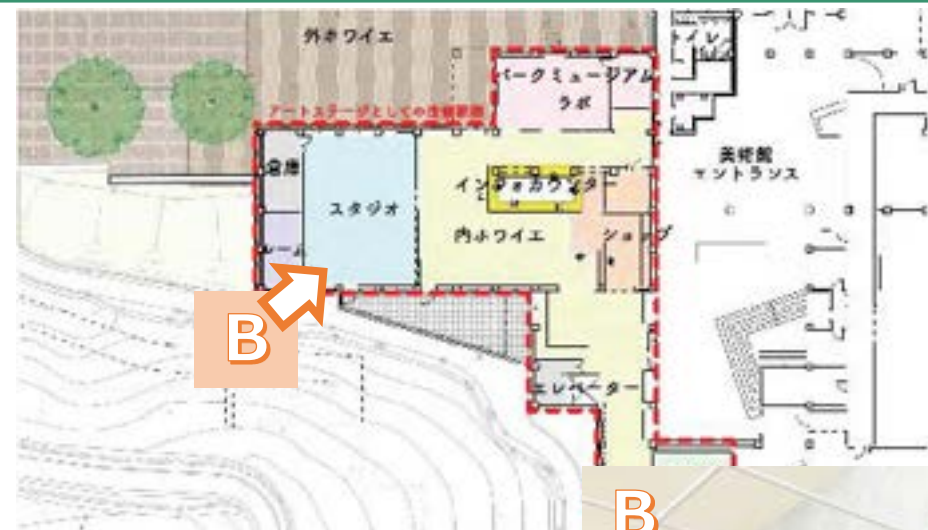
- 導入展示として常設・企画展に関連する展示をすることで、美術館のエントランスとして、これから展示を観る方が、展示室に行くまでの気分を高めたり、別の目的で訪れた方が、導入展示をきっかけとして、常設・企画展への来場を促すPRの場でもあります。
- ミュージアムショップでは、両館に関連した商品が購入できるほか、座って一息つけるように飲み物の提供も想定しています。

- アート・出会いの広場を通じて、美術館に訪れた方も、これまで美術館に来館する機会が無かった方でも居心地の良い空間、居場所となります。

- 両館の総合案内を行うインフォカウンターは、公園に来園された方、美術館に来館された方を迎える顔として、コンシェルジュのような役割を担います。
- そのなかでデジタルサイネージを使用して、市民の方が気軽に展示やイベント、アート活動といった様々な情報を知ることができるようにします。



4 2つの美術館の一体的な整備 -アート・出会いの広場



- 美術館、美術品との距離を縮めるため、レクチャールームとして使用することは、有効な使い方の一つだと考えています。
- 展示室での解説だけではなく、開けた空間で気軽にギャラリートークを聞くことができます。
- 来館者の方のもっと知りたい、気軽に楽しみたいという気持ちや、学芸員の多くの方に伝えたいという気持ちをつなぐ場としての役割を担っています。

- 両館の企画展の導入展示としての使用はもちろん、市民の方の発表・表現の場としての使用も想定しています。
- これまで展示室内では行うことができなかった参加型のワークショップや、音を出した展示、パフォーマンスなど様々な用途に使うことができます。
- その他に、市民の方等の芹ヶ谷公園で行いたい活動を支える拠点として、打ち合わせスペースや活動の準備、発表・展示ができる場を設けることで、公園と美術館をつなぐシームレスな場となることを目指しています。



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要



引用図：芦ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト パークミュージアム DESIGN BOOK

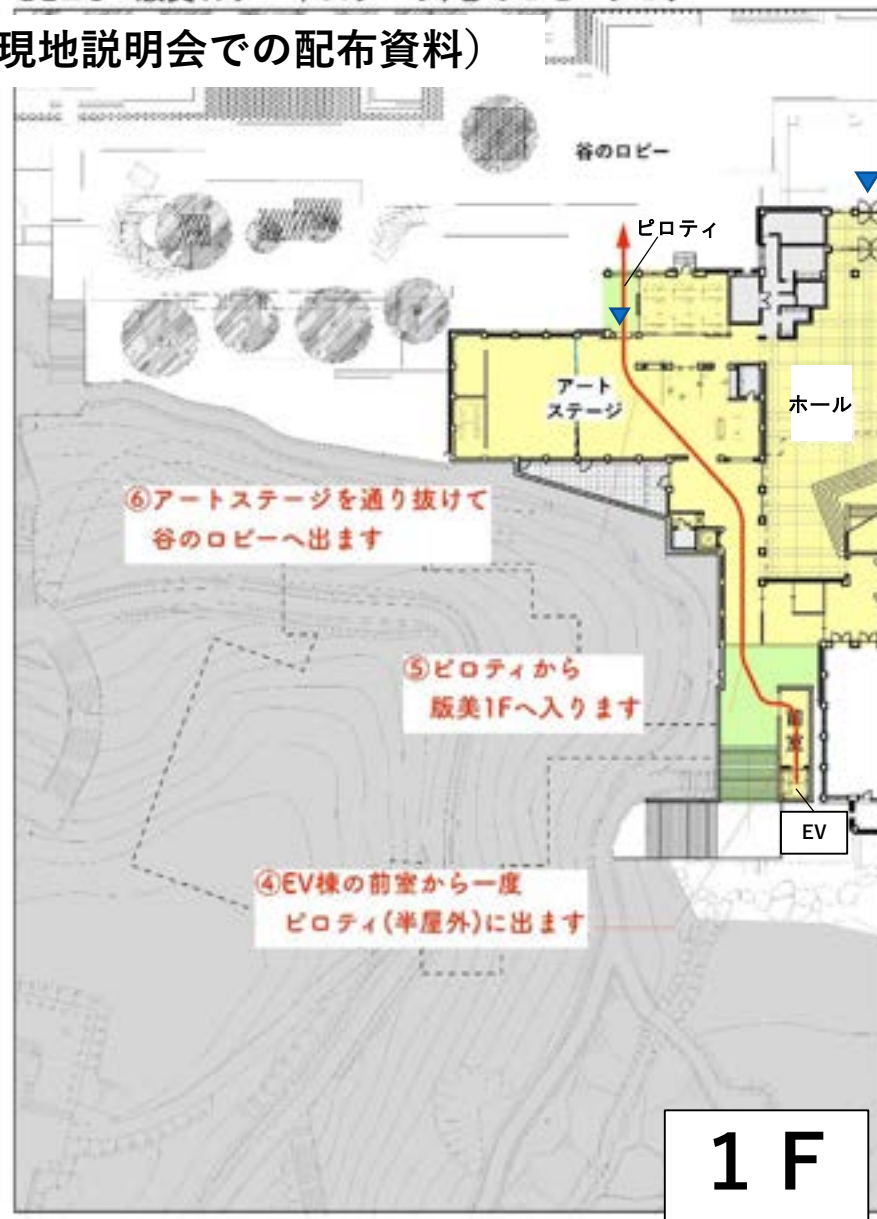
5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

GL+17200：工美2F/屋上園路フロア

■ 屋内 ■ 屋外(屋上) ■ 半屋外

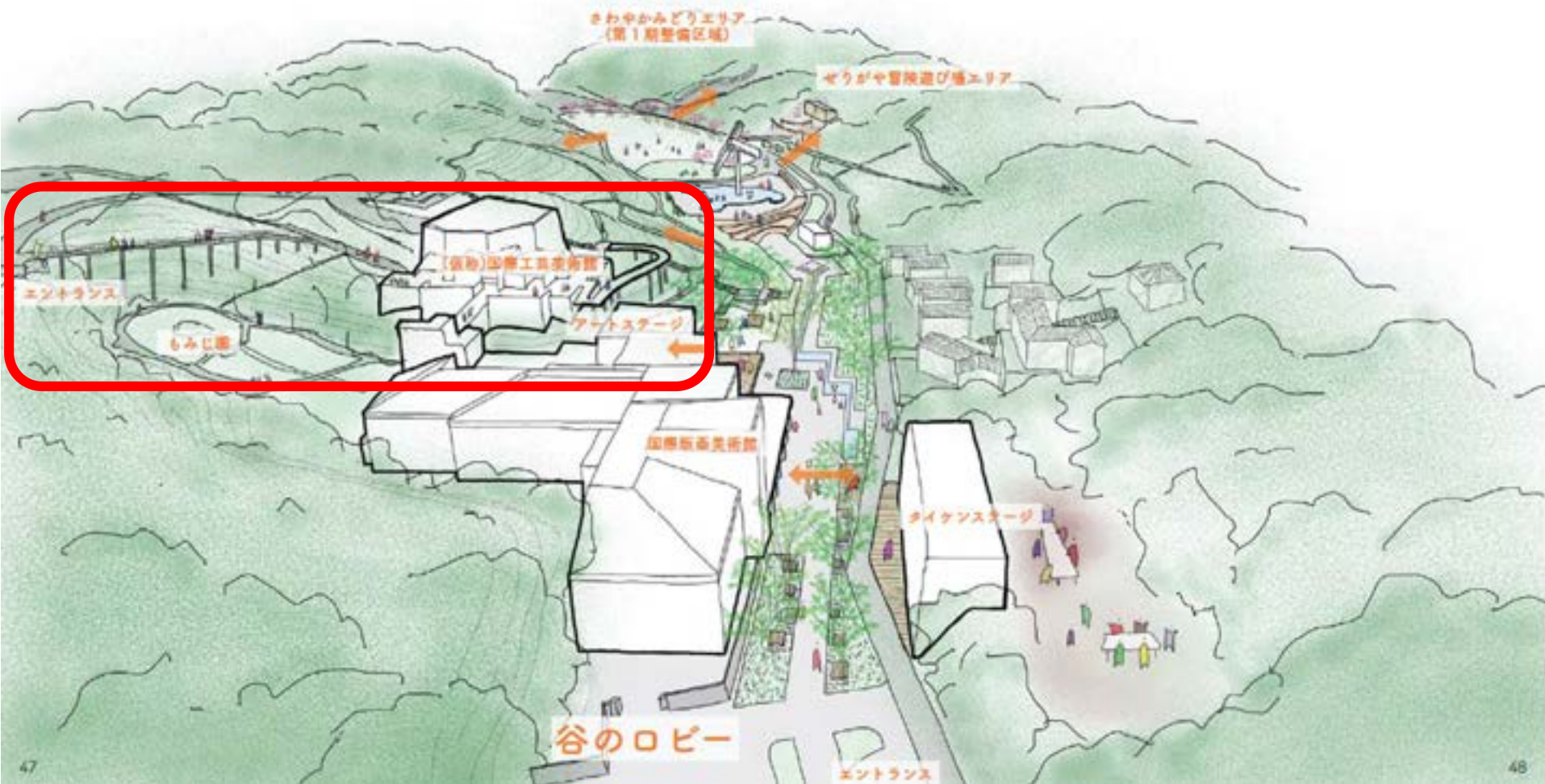
GL±0：版美1Fアートステージ/谷のロビーフロア

バリアフリールートの整備について（2021年5月現地説明会での配布資料）



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

バリアフリールートの整備について（変更前イメージ）



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

バリアフリールートの整備について（変更後イメージ）



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

バリアフリールート整備について（公園内の高低差を解消するエレベーター）



橋梁デッキ・エレベータ棟立面図 S=1:250



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

GL+17200：工美2F/屋上園路フロア

■ 屋内 ■ 屋外(屋上) ■ 半屋外

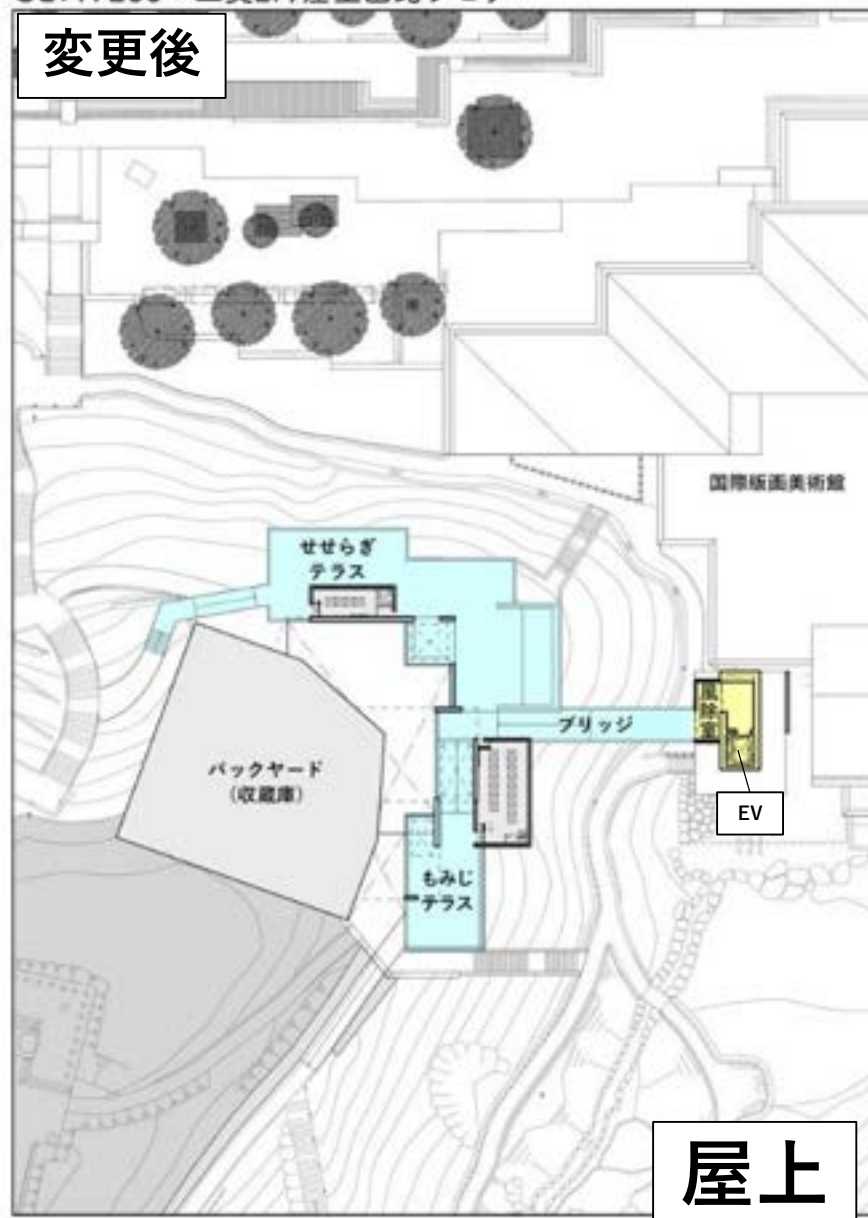
2つの美術館をつなぐエレベーターについて

変更前



GL+17200：工美2F/屋上園路フロア

変更後

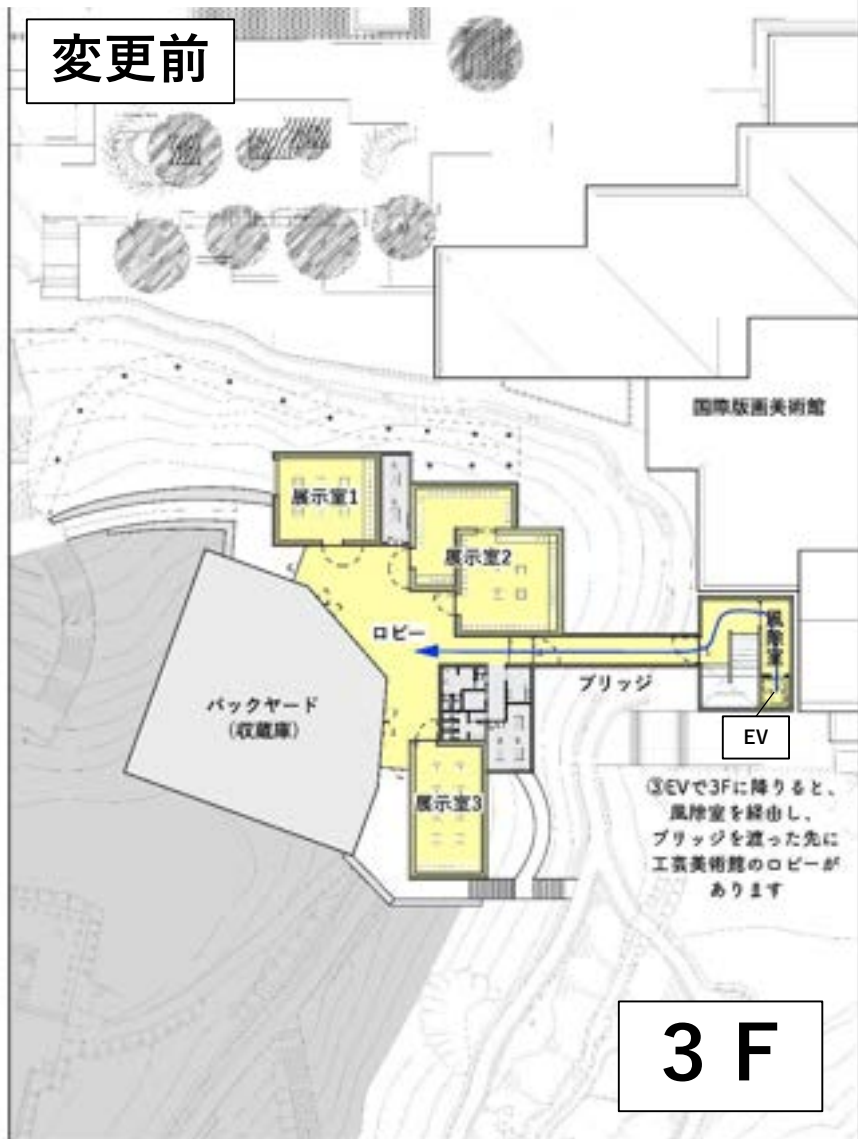


5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

GL+10300：工美1F展示室フロア

2つの美術館をつなぐエレベーターについて

変更前



GL+10300：工美1F展示室フロア

■ 屋内 ■ 屋外(屋上) ■ 半屋外

変更後



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

GL+5100：版美2F展示室フロア

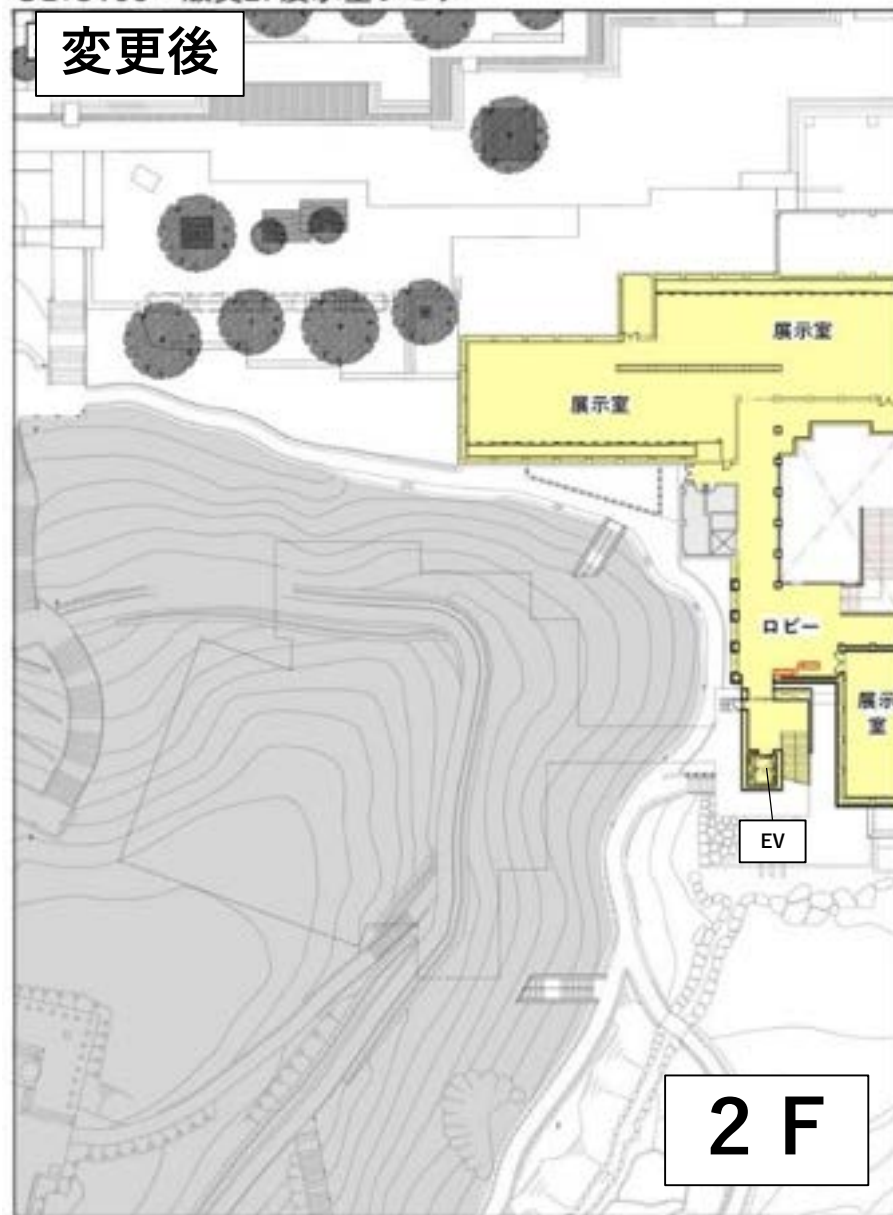
2つの美術館をつなぐエレベーターについて

変更前



GL+5100：版美2F展示室フロア

変更後

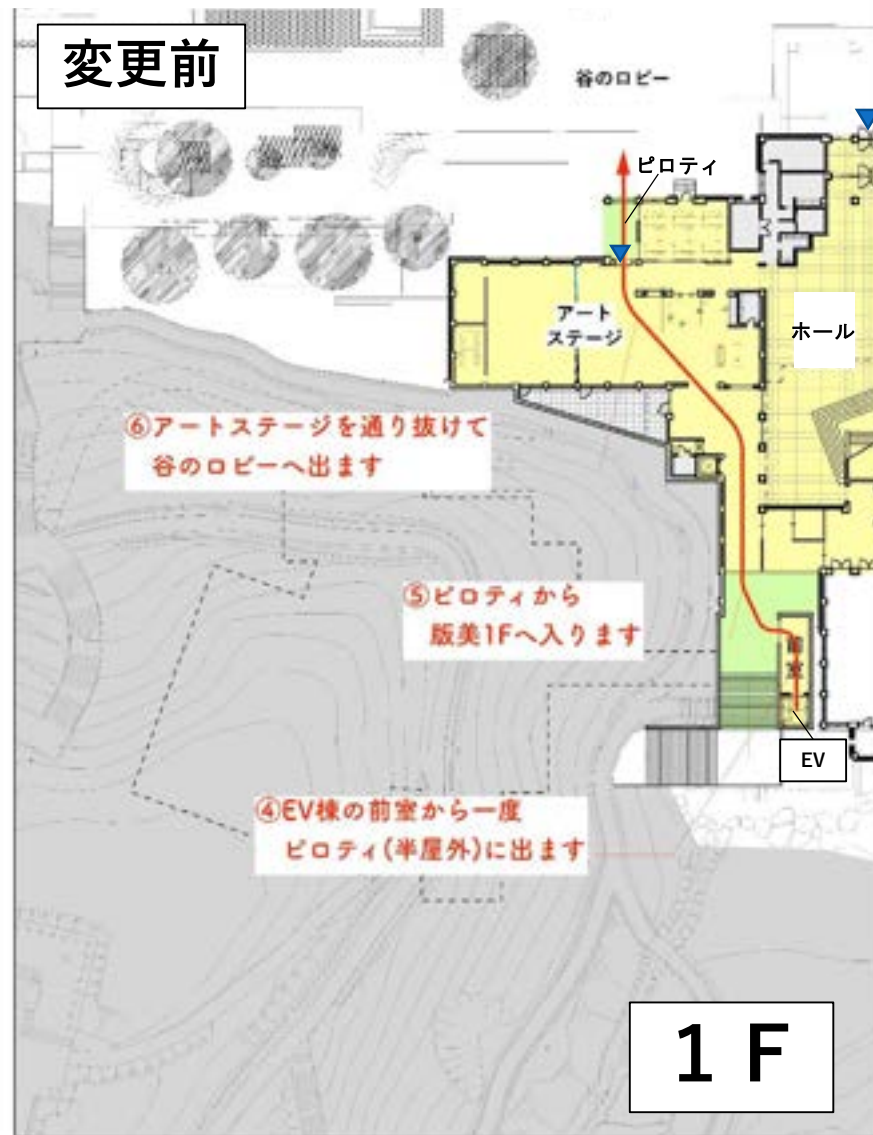


5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

GL±0：版美1Fアートステージ/谷のロビーフロア

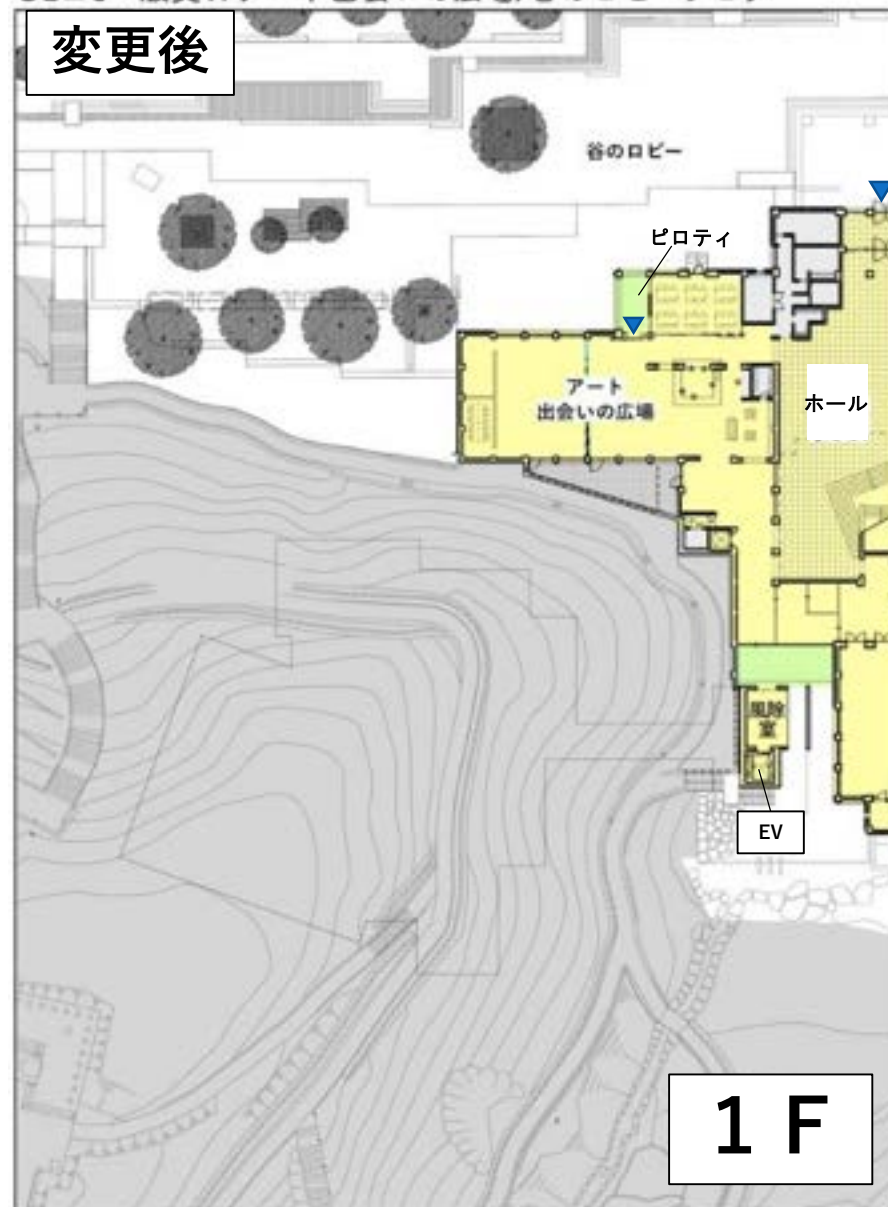
2つの美術館をつなぐエレベーターについて

変更前



GL±0：版美1Fアート出会いの広場/谷のロビーフロア

変更後



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

アングル1



2つの美術館をつなぐエレベーターについて

アングル2



5 パークミュージアム会議における変更計画の概要

アングル3

2つの美術館をつなぐエレベーターについて



アングル4

